

帝人株式会社への企業訪問について

訪問概要

【訪問企業】 帝人株式会社
 【訪問日】 平成30年1月23日
 【主な出席者】
 <帝人株式会社> 早川常務執行役員
 人事関係 幹部方
 <大阪労働局> 田畑労働局長



左：大阪労働局 田畑局長
 右：帝人株式会社 早川常務執行役員

意見交換

働き方改革に向けた主な取組(抜粋)

項目	主な内容
業務効率化・生産性向上に向けて	<p>◆業務見直し活動と社内事例の共有化 社外コンサルタントとともに複数のモデル部署でRPAなど自動化も含めた業務見直しを実施。また、本活動も含め帝人グループ内の諸活動について随時情報発信を行い、横展開・ノウハウ化を行う。</p> <p>◆労務時間管理意識の向上にむけた各種取組やシステム改正 ノー残業デーの設定や一斉消灯、勤務時間のPC表示等により時間外労働の削減に取り組む。</p>
女性管理職の増加に向けて	<p>◆女性管理職人数の増大に向けた採用・育成 ・新卒採用女性比率30%以上を目指し、2001年以降概ね30%以上を維持している。 ・女性幹部育成プログラム等により女性管理職の母集団を形成。女性管理職登用を加速させている。</p> <p>◆女性の育児休業取得率は100% (平成28年度) ・男性についても育児休業の取得を推進し、30%以上が取得。</p>
年次有給休暇の取得促進	<p>◆年次有給休暇の消化率は平均約7割 年休取得奨励日の設定や、取得日数が低い職場・個人のフォロー等により、取得を促進している。</p>
在宅勤務・テレワーク	<p>◆柔軟な働き方としてテレワーク等の制度整備やトライアルを実施 ・現在は育児・介護・妊娠・障がい事由に限定した制度だが、最終的には、業務上支障がないと判断できる全ての社員に適用し、利用率50%にすることを目指している。 ・複数のモデル部署でトライアルを行い、意見・課題から今後制度化を検討していく予定。(日単位から時間単位での取得が可能。)</p>

早川常務執行役員より

- ✓ 柔軟な働き方が出来る様、環境の整備を進めてきた。これにより、社員がワークとライフのスタイルを柔軟に選択できる体制を構築したいと考えている。その中でも、業務効率化により生み出した時間を各種資格の取得に向けた学習時間にあてる等、社内の知識にとどまらない自己研鑽を促したい。
- ✓ 社外コンサルタントと連携した業務の効率化では、これまでルーティンで当たり前になっていたことを変えたい思いがある。当取組を通して得る情報をもとに今後対応策を検討していく。

田畑労働局長より

- ✓ 業務効率化に向けた社外コンサルティングの導入、テレワークのトライアル等、働き方改革に向けた各種取組を先進的に行われている。これらの取組による今後の課題把握・対策検討に期待している。
- ✓ 女性管理職人数の増大に向け採用・育成に真摯に取り組まれており、柔軟な働き方の推進と併せて引き続き取組をお願いしたい。
- ✓ 年次有給休暇の平均消化率が高く、年休取得に対する意識が浸透している。一方で男性の育児休業取得率については改善の余地があり積極的な取得促進をお願いする。